



▲安来地区保護司会の役員の方々

安心して暮らせるまちに 安来地区保護司会

「私たちが活動は、再犯を減らすことで、犯罪そのものを減らすことにつながっています。家族や周りの人が安心して暮らせるようになってほしいという一心で動いていますよ」と思いを口にします。

秋間さんが保護司になったのは、当時保護司をしていた人から依頼を受けたことがきっかけ。軽い気持ちで引き受けたそうですが、当初は苦労があったと言います。

「最初は、担当した保護観察対象者にあまり会ってもらえず上手くいけませんでしたが、私は、なぜ犯罪などしてしまったのかという気持ちで接していました。その人のことを理解しようとしていなかったのかもしれない」と振り返ります。

しかし、「今は、当事者の背景や家庭環境などを理解するようにしています。そうすると、本人や家族は大変な思いをすることが分かります。犯罪は許されることではありませんが、罪を償って、その

今後の活動について、「安心して暮らせるまちをつくるには、『犯罪をしてしまった人が更生できる環境』も必要です。これからも学校や警察署、民生委員の方々と連携しながら取り組んでいきたいと思っています」。

「私たちは、しっかりと更生してもらうために信頼関係を築いて、お互いが理解し合うようにしています」と活動をする上で大切にしていることを話す秋間さん。

後、社会の役に立つ人間にしていくことが、まちに住む全ての人にとっても必要なことです」と力を込めます。



▲会議であいさつをする秋間会長。今年度は中止ですが、毎年、会員対象の研修会なども行っています。

▼今年度、白寿を迎える方は42人。安来でも長生きをされる方が増えています。広報を担当してから毎年、取材をさせていただきませんが、皆さん「何でもよく食べる」と言われます。これを聞いてみると好き嫌いの多い自分は大丈夫だろうかと心配に。とりあえず、シイタケから挑戦してみることになります(旬)

▼特集で紹介した、安来市包括支援センターがサポートするこけなから体操。「毎週出席するのが楽しみですよ」と参加者の皆さんは、とても嬉しそうに話します。住み慣れた地域で、顔なじみの人たちとともに行う体操。足腰を鍛え、体が健康になるのももちろん、心の健康にもつながっていました(一)

編集後記

安来市の人口と世帯数 R.2.9.30現在

人口合計 / 37,896人
(男:18,203人 女:19,693人)
世帯数 / 14,390世帯

